

## 第 67 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 29 年 10 月 30 日(月) 午前 10 : 30 ~ 12 : 00
  
2. 開催場所 COM 倶楽部会議室 (箕面市船場東 2-5-47 COM3 号館 5 階)
  
3. 委員の出席 委員総数 6 名  
  
出席委員 5 名  
  
出席委員の氏名 稲垣千秋、桑田政美、高谷和彦  
神垣美代香、中川弘佳  
  
欠席委員の氏名 須貝昭子  
  
放送事業者側出席氏名 藤井 栄治 (取締役統括部長)  
大平麻由美 (編成課長)  
野間 耕平 (編成課員)
  
4. 議 題 1) 番組 開局 22 周年スペシャル「タッキー大集合！」(公開生放送)  
2) 審議  
3) その他番組に対する意見
  
5. 議事の概要 事務局挨拶の後、稲垣委員長が議長となり審議となる。

## 6. 審議内容

### 1) 番組

#### (1) 事務局より番組説明

日頃声だけで放送をしているパーソナリティが大集合して3時間の公開生放送を実施。開局20周年を機に、毎年開局記念の公開生放送を実施。コミュニティラジオ局は、市町村単位のラジオ局で、地域のきめ細やかな情報をお伝えできることが特徴で、特に災害時には箕面市に特化した緊急情報をどこよりも早くお伝えするため、日頃から、タッキーを知っていただけるように、箕面に密着した放送を続けています。そこで、今回の特番は、局の使命でもある「防災」をテーマに番組を企画しました。

パーソナリティが防災グッズや日頃の防災への取り組みを紹介したほか、箕面市赤十字奉仕団のかたをゲストにお迎えし、防災クイズ大会を行いました。「聞かせて！ペット自慢」のコーナーでは、箕面市獣医師会の先生をお迎えし、災害時のペットについて伺いました。

また、タッキー出演アーティストのミニライブや会場のみなさんと一緒に歌を歌うコーナーなども織り交ぜました。会場では、箕面市赤十字奉仕団による防災グッズの展示や、折り紙で滝ノ道ゆずるを作るコーナーを設けたほか、会場で防災アンケートを実施し、番組の後半で発表しました。

#### (2) 審議

委員長：事務局から番組説明がありました。それではさっそく番組審議をお願いします。

委員 A：ペットの時間では、ペットや飼い主の顔が見えないラジオなので、いろいろな犬種がいる中、自分の犬が一番だという話ぶりがほほ笑ましかったです。犬の防犯パトロールはテレビでも見かけたことがあり、我が家でも犬を飼っていたら参加できるのと思いました。パトロールをされているかたのエピソードも、もう少し聞けたら良かったと思います。また、獣医師さん

のお話も、避難所でどういうゲージを使うのか、日頃からどういった訓練をしたらいいのかなど、役に立つ話で興味深かったです。パーソナリティのみなさんの防災グッズの紹介は、分かりやすく、私もいくつか足りないものがあり、さっそく100円ショップに行こうと思ったほどでした。最後に感じたのは、「元気でいかなくちゃ！」というパーソナリティの思いは伝わるのですが、元気が良過ぎて、ちょっと聴いている方が引いてしまうところもありました。盛り上げる所とそうでない所も必要で、きちっと会話しなれないところは普通に話した方がいいと思いましたし、ざわざわと落ち着かない部分もあり、パーソナリティの引っ張って行き方や話し方のトーンも課題だと感じました。

委員 B：防災に対して、再度確認する部分があり、とてもいい内容でした。防災グッズの紹介も、よく聴けました。みなさんで歌うという場面で、声の出し方や姿勢の面など、日常的にも役に立つ話だったので、いいなと思いました。気になったのは、前半部分で「防災」のアクセントが「↑ぼ↓うさい」となっていたのが耳に付きました。「→ぼうさい」が正しいと思うのですが、オープンスペースの公開放送なので、テンションが上がっていたからかもしれないですし、日頃はそうじゃないかもしれないですが、耳に付きました。

委員 C：全体的に「防災まつり」なので、良かったなという雰囲気はあります。ただ、MCの人が、決まったように「はい、拍手！」と言う。コーナーの区切りの頭ごとに拍手が強要されるようで、それは耳に付きました。また、パーソナリティの声は良く聞こえますが、周囲の雰囲気は全く感じられないということがありました。ペットの防災についての解説に獣医師のかたが来られて、それなりのコメントをされていて参考になるいい情報でした。防災クイズは、基本的な、誰でも知っていないといけないようなクイズが多くて、最後には「必要な情報はタッキーで聴きましょう」という問題もあり、宣伝にもなったことでしょう。でも、タッキーを聴いているかたの全体のパーセンテージを見ると、認識はまだまだ低いです。箕面市の防災の進め方は自治会単位だと基本的に思っていますが、自治会の加入率が多い所で52%。その中で、認識をしてない人もいるわけですから、平均して30数%といったことになってくるのだと思いますが、この辺がタッキーが市民に対してもっと入り込んで、防災をもっと訴えていかなければならな

い隙間があると感じました。

委員 D：公開放送ということに関しては、きっちり押さえていて、本来顔が見えないパーソナリティを全員出して、来場者に知っていただくという、顔が見えるというのは大事なことなので、それはちゃんとやっていたかと思いません。一番の目的の防災について、いろんな形で、グッズの紹介や作りなどを盛り込んでいるのは評価できます。歌の場面で、歌詞を見ながらみんなで歌うのは良かったです。ただ、一番気になったのは、アンケートのパーセントですね。緊急放送が流れていることを知っているのが 30 数%、タッキーを聴いたことがあるのが 50%程度で、えっ？22 年も経ってこれだけかという、ものすごく気になりました。ものすごくゆゆしき問題で、でもパーソナリティが「50%だからいいか」と笑っていて、ここがすごく気になり、毎年周年ごとにいろんな形で番組をやってきて、聴いたことがあるという人が、50 という数字がコミュニティ放送としてはどうなのか、と。もっと言うと、これから公開放送など番組作りをする上で、とにかく知ってもらい、聴いてもらうということを第一にしていかないと、緊急放送も含めて、存在価値を疑われると思います。例えば北海道のコミュニティ局などは住民の 8～9 割が聴いているといいますし、地域によってはそれが無くてはならないという局になっていますし、箕面ももっと聴いてもらう数値が上がってもいいのに、そういう工夫をしなくてはならないと思います。ラジオウォークのような、移動しながら周囲を通る人に声をかけて、放送しているということを外に見せるというような、制作上の人手の問題もあるのですが、そういう工夫が要るのかなと非常に聴いていました。番組そのものには問題はありませんでした、その辺りがずっと気になりました。ついでながら、番組とは関係ないのですが、今回の台風はすごく雨と風が強くて、これは聴かなければとラジオをつけっ放しにしておいたのですが、結局テレビの方を見てしまう、これはリアリティーに欠けるからなのかとそれも気になりました。

事務局：当日はスタッフが箕面市の災害対策本部に詰めていたのですが、特に市内の目新しい情報が入って来ず、こちらも結局テレビで情報を得るような状況で、箕面の情報がどんどん入ってくればラジオを聴くのですが、そこが難しく、情報をどう扱っていくかが課題と感じています。タッキーが放送すべきことは、箕面市の緊急情報。箕面市の緊急情報ならどこより

も早くお伝えできる自信はあるのですが、特に緊急情報がない場合、市民が知りたいのは台風の進路や気象情報。そうなると、タッキーには情報ソースがない。

委員長：各地域の状況をリアルタイムに知りたいという希望はある。

委員 D：タッキーの放送の立ち位置をはっきり決めては。メインではなくて、サブという位置づけでもいいのでは。「ラジオのスイッチは入れておいて。緊急事項があったら放送するから」と言った上で初めからサブという位置づけを確保しておく。そして、日頃から「防災」を徹底的に各番組に組み込んで、災害に対しての認識をあげていく、そういう有り方があっていいのでは。

事務局：アンケートの件ですが、当日会場に来た 100 人に話を伺って項目に答えてもらうという形式で進めましたが、みのおキューズモールで聞いたということもあり、箕面市外や大阪府外のかたも半分くらいおられました。当日その場で集計して、番組の最後に間に合わすという作業だったので、「タッキーを聴いたことがありますか」という項目は箕面市民に限っての数値にすれば良かったと思います。放送でも市外も含めた数字だということがあまり伝えられず、低い数値と受け止められました。箕面市民に限って言えば、タッキーを聴いたことがあるという人は 50%ということではなく、7～8割という感覚ではありましたので、その辺りを上手く伝えられなかったのが反省点ではあります。

委員長：毎年周年記念にこうして公開放送を実施することは、みなさんの士気も上がりますし、区切りにもなるし、市民の目にもとまって参加もできる、話題性にもなるので、これからも続けていただきたい。

委員 E（書面）：22 周年イベントという節目としての番組ということで、長時間にわたる番組を聞いて頂く工夫がされていたと思います。特に、防災を絡めて、ペットを飼っている家庭での防災啓発についてなど、社会的に関心のある点に絞って情報提供した内容は、大変参考になりました。テーマ番組の合間に流れる音楽も耳心地よく選曲もよかったです。ただ、インタビューに関して、市民の方が答えておられる声が小さくて聞き取りづらい点がありました。マイクの向け方でしょうか。一般の人の声は特に配慮し

て、しっかり届けていただきたいと思います。

事務局：22周年特番は、日頃個人でパーソナリティをしているスタッフが集まって番組を作りました。仲の良い感じを出しながら、きっちりとお伝えするところはきっちりとするといったようにメリハリはつけていかないといけないと考えています。今後も、防災をテーマに23周年に向けて日々取り組んでいきます。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社放送

事務所への備置

ホームページ (<http://company.minoh.net/>)

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成29年10月30日

箕面FMまちそだて株式会社

番組審議会